

植物と触れ合う癒しの時間 多肉植物寄せ植え教室

9月1日に交流センター「ふれ愛館」で開いた生涯学習事業『多肉植物寄せ植え教室』。樹木医の鈴木俊行先生を講師に迎え、約20人が受講しました。使用土の特徴や植物の配置などについては、鈴木先生が実演を交えて楽しく解説。参加者は、グリーンネックレスやシレイデンなど9種類の植物を、大きさや高さを見ながら配置。おしゃれなブリキの鉢に丁寧に植え込み、「寄せ植え」づくりの楽しさを味わっていました。



巧みな話術で、栽培のコツまで楽しく教えてくださる鈴木先生(中央奥)。リピーターの多い人気講座です。

親子で楽しい時間を 絵本ライブinスポーツ公園

9月17日、「いいたてスポーツ公園」屋内テニスコートで、『絵本ライブ』を開催しました。講師は、「にじのかなた(マキ&サユリ&ヨシユキ)」。演奏、歌、読み聞かせを組み合わせた新しい形のライブです。ライブ中には、子どもたちと保護者が触れ合うような微笑ましい場面も多く見られました。この日はアンコール2曲を含む計9曲のプログラムが行われました。参加者からは、「演奏付きの読み聞かせは初めてでとても楽しかった。」と、好評の声が聞かれました。



参加した子どもたちは、音楽に合わせて歌ったり踊ったり、ノリノリで楽しむ様子が見られました。

市町村対抗軟式野球大会 白河市チームとの初戦で善戦

第16回市町村対抗福島県軟式野球大会1回戦に飯舘村チームが登場。9月17日、信夫ヶ丘球場(福島市)で、白河市チームと対戦しました。飯舘村チームは1回裏に得点をあげ、終盤に向けて調子を上げていきましたが、序盤の失点が響き10対1で敗れました。

選手の皆さん、村チームとしての熱いプレーをありがとうございました!



試合中も声をかけ合いチームワークのよさを見せつけた村チーム。今後ますますの活躍を期待しています!



令和4年度「全国学力・学習状況調査」の結果から

令和4年4月に全国学力・学習状況調査が行われました。この調査の目的は、児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、今後の教育活動に役立てていくことです。毎年実施している2教科(国語と算数・数学)の試験及び質問紙調査(学習・生活状況に関する質問)に加え、今年度は4年ぶりに理科の試験も実施しました。飯舘村教育委員会では、調査結果から子どもたちの良さや課題を把握し、継続的な検証改善サイクルを確立しながら確かな学力を育むことを目指しています。

福島県の傾向

- 中学校国語がおおむね全国平均となっている。一方で小学校算数と中学校数学は全国平均を下回っている。
- 質問紙調査から「主体的な学び」「対話的な学び」の視点による授業改善が進んでいる。一方、これまでの学習を振り返り、自分の考えをうまく伝えようと工夫するなど、自らの学習を調整しようとする態度の育成に課題がある。

飯舘村の結果から

■ 村の結果も概ね福島県の傾向と同様である。しかし小学校国語と算数や中学校理科など、全国や県の平均を上回っている教科もある。

1 各教科について

学年	教科	良くできているところ	課題となっているところ
6年生	国語	物語を読み、登場人物の行動や気持ちなどをとらえる。	漢字を文の中で正しく使う。
	算数	問題の表の意味を理解し、全体と部分の関係から答えを求める。	グラフから必要な情報を読み取る。
	理科	身の回りの観察から自然の事象を理解する。	観察で得た結果を、分析・解釈しながら自分の考えをもつ。

学年	教科	良くできているところ	課題となっているところ
9年生(中学3年生)	国語	文章に即して漢字を正しく書く。	小説の場面の展開や登場人物の心情の変化などをとらえる。
	数学	事柄を説明するために、式を変形する。	図から分布の特徴を読み取る。
	理科	化石から過去の大地の変動を考察する。	物体に働く力について説明する。

2 各教科の結果と質問紙調査との関連を分析して、正答率の高い傾向にある児童生徒

生活に関わること	学習に関わること
<ul style="list-style-type: none"> ◎ 携帯電話・スマートフォンやコンピュータの使い方について、家の人と約束したことを守っている。 ◎ 将来の夢や目標をもっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ◎ 課題で分からないことがあったときにそのままにせず、周囲に聞くなどの努力をする。 ◎ 公式やきをまりを学習するとき、その理由も考える。

学力向上に向けた今後の取り組み

- 少人数教育のよさをいかした、個に応じた指導が成果として表れており、今後も継続します。
- 昨年度より進めているICT機器を利用した学習が協働的な学びにつながり、思考力・判断力・表現力の向上に役立っています。引き続き活用していきます。
- 知識や技能を身につけるために、繰り返しの学習など基礎基本の定着を目指した指導を行います。



ご家庭では

- 毎日の生活リズム(起床、就寝、食事の時間)を守らせましょう。
- ゲームやスマートフォンの使い方を親子で決めましょう。
- 家庭学習を習慣化させるために、下校後の計画を立てさせましょう。